

週寫眞
報

編輯局報情
ンセ十・號六百三第・日六廿月一



擊突總へ保確炭石



爆撃機一台をつくるには約二百トンの石炭がいる
 輸送船一隻をつくるには約三万トンの石炭がいる
 炭礦では採炭に死ものぐるひだが
 戦力をぐんと強めるにはまだく石炭が足りない
 それぢや、その石炭は全國民で掘らう
 さて、その秘法は――

各家庭で毎日三十ワットの電燈を一時間づ、節約すれば全國で月に約二万トン
 各家庭で毎月二立方メートルのガスを節約すれば東京だけで月に約一万吨
 各家庭で毎月新聞紙四日分に相當する紙を節約すれば全國で月に約一万吨
 各家庭で年に反物一反に相當する衣料を節約すれば全國で月に約一万吨

の石炭を掘つてゐることになるのだ

「時の立札」は他へ轉載その他に御利用下さい

戦力増強に資する石炭

舉國石炭確保激勵週間 三月一日～三月十日



戦力は愈々重大、飛行機船舶の飛躍的増産は
 さに一刻を争ふ急務である
 さて、このためにまづ、いるものは石炭、莫大
 な量の石炭が求められてゐるのだ。是が非で
 もやりとげねばならぬその目標、前線の勇士
 たちに、飛機は必ず送るぞ、と約束する前に、
 それにいる石炭は必ず確保するぞ、と誓はう

福岡県貝島炭礦 全炭一丸の總突撃

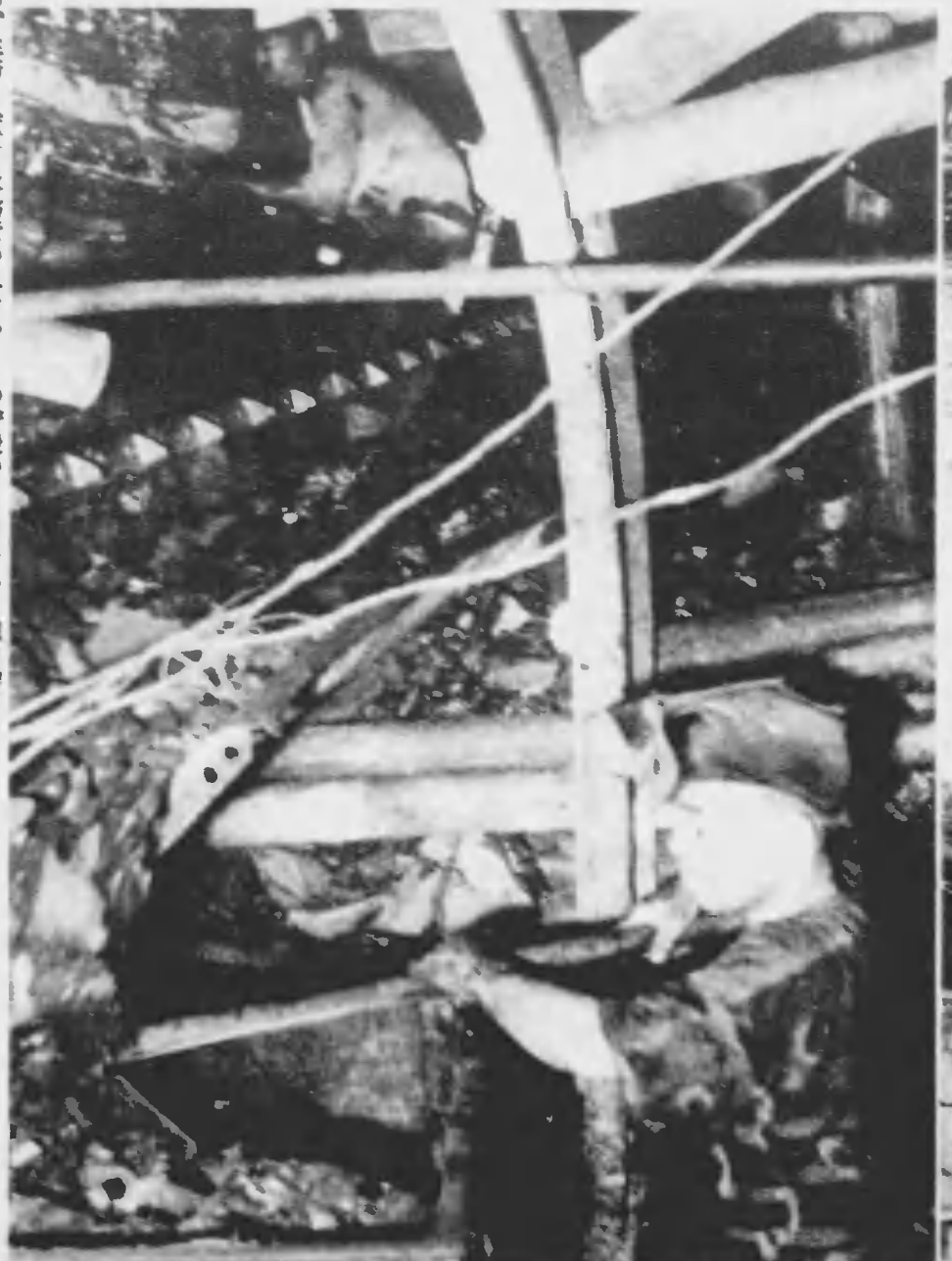


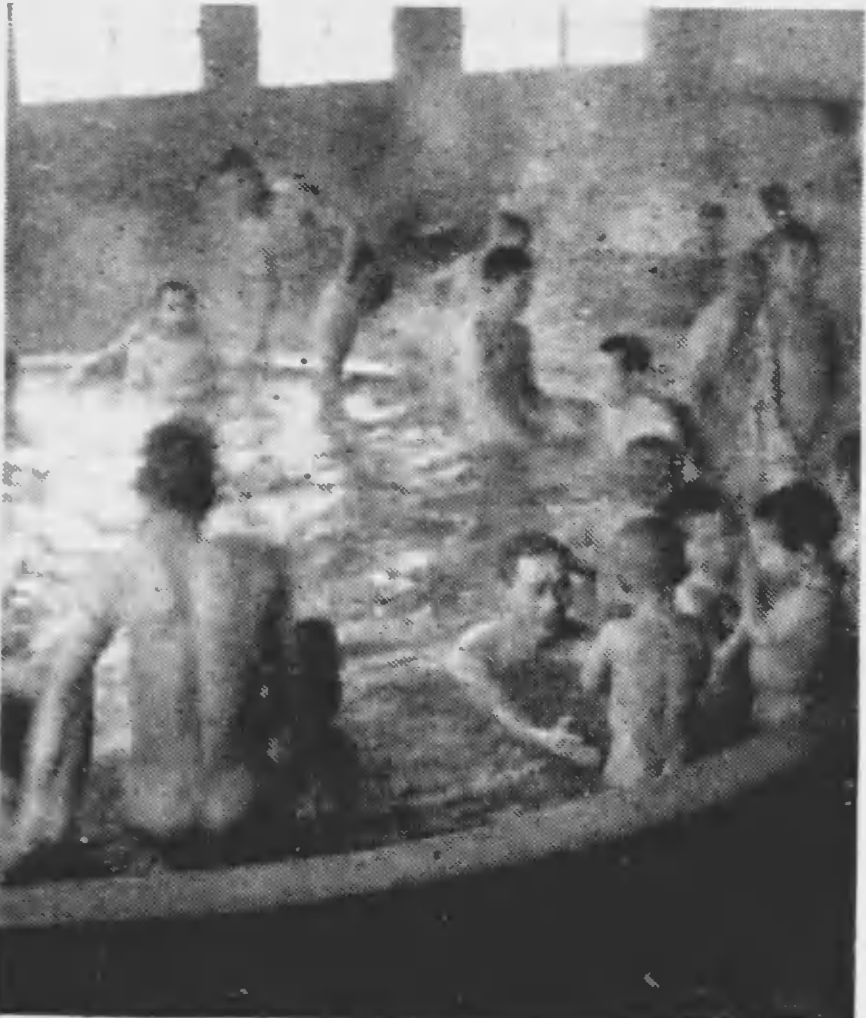
創意的な増産目標へ、全炭礦一丸となつての突撃だ。お父さんやちさんたちの坑内
 運搬に學堂も主婦も補助員の見送り「たのみますよ!!」「よし、やるぞー!!」
 女達も先ずは頑強な戦士たちになつて女子事務員が心をこめた「めしの彈丸」を。

頑強れ、敵の銃後と一撃打た
 切羽では必死の敢闘だ。鑿掘機で掘り出される炭塊は無敵運炭
 機に運び出されて炭車へ、炭車は長い列車を作つて選炭場へ。



選炭水洗と終へた石炭も貨車が運び切れない、何千トンの貯炭の山を築く。貨車が入ると、まあ、主婦も學堂も事務所の人たちもこの貯炭の山を崩すのに躍り出た





いびどの所ぢきまままい
かと思つて二の足を踏
か人がまるとすれば、そ
の心配は全くご無用。
むしろ、炭礦は少くと
もこゝに紹介したやう
な扶養な働き甲斐のある
職出であり、住みよい
ところだと保証しよう。

↑
炭礦といつても決して山
奥の仙境ではない。この
近所生きのいい魚もちや
んと配給による。

↓
とても近代的な病院が分
院と二ヶ所にある。働
働職士と子の家族の保健
のためである。

↑
汗と炭塵にまみれる勤勞
職士のために、あちらこ
ちらにある風呂は四六時
中わいてゐる。番傘など
はない無料だ。



住みよき炭礦



各礦毎に立派な山神社が祀られてゐる。神様に感謝
と安全を今日も祈りに

山を背景に手入れの行き届いた隣組公園がある。
生活の楽しみはこゝにも

土橋末好君の家庭は親子四
人のこの躰じき、日當りの
よい六畳、四疊半、三疊の
三間で電燈料も水道料も含
めて家賃はわづかに一圓六
十錢、他もおして知るべき
生活の質良さ

↑
子供の教育にも心配はな
い。炭礦私立の小学校(國
民学校のこと)が三つもあ
る。お父さんは炭礦からの
隣りに坊やの勉強ぶりが毎
日でものぞける

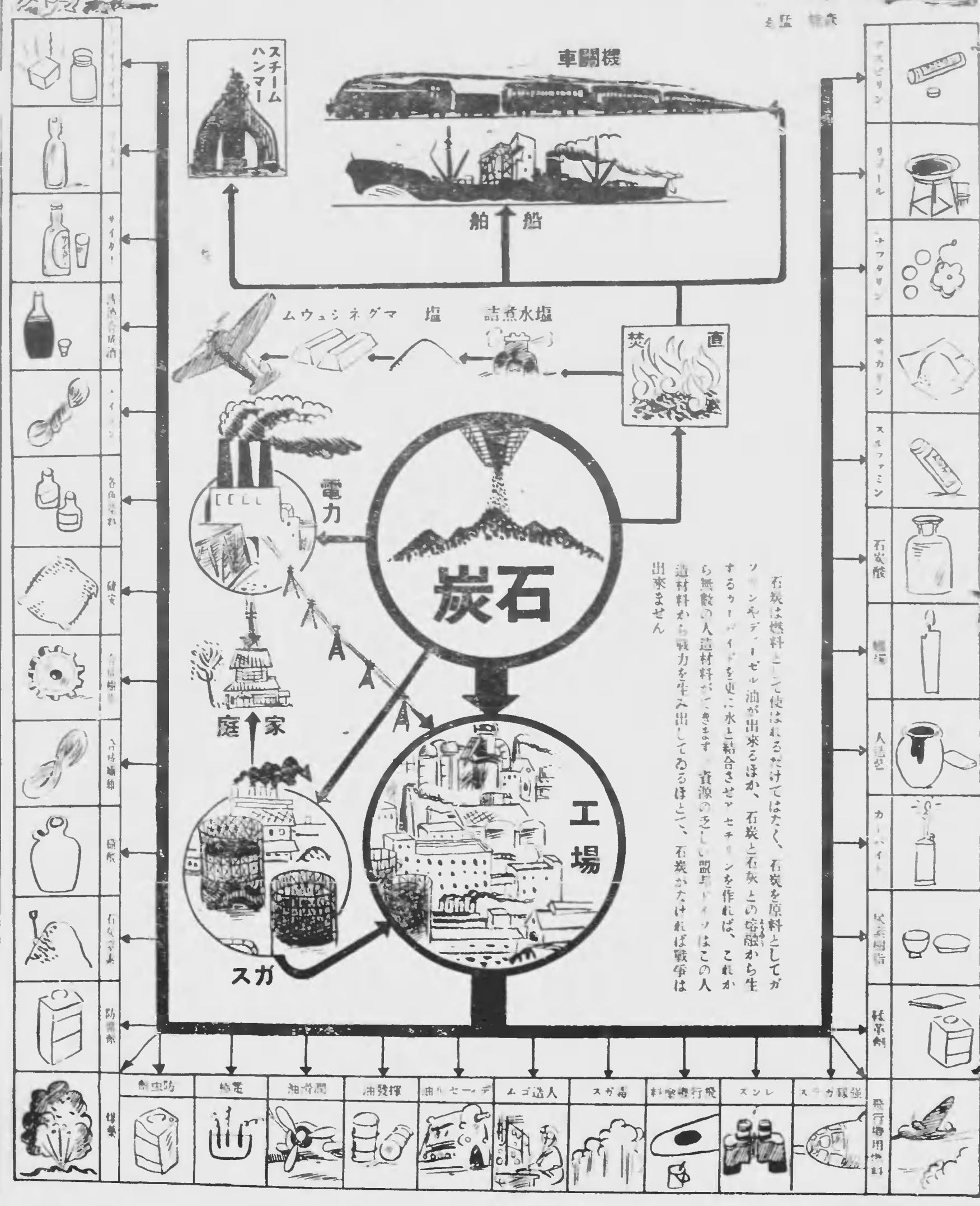
↑
劇期的な石炭増産を
やりとげるには何とし
ても人が足りない。炭
礦は人を求めてゐる。
職夫への職友を求め
てゐるのだ

↑
事情の許すかぎり一
人でも多く炭礦へ馳せ
参じよう

↑
もし、炭礦へゆくのも
よいが普通の人間で
は、とてもやり切れない



大いなるもの炭石はでてきてる



石炭は燃料として使われるだけではなく、石炭を原料として、ガスやセメント、油が出るほか、石炭と石灰との反応から生ずるカーバイドを更に水と結合させセシウムを作れば、これから無数の人造材料が出来ます。資源の乏しい盟邦ドイツはこの人造材料から戦力を生み出してゐるほど、石炭がなければ戦争は出来ません。



何をつくるにも
これだけ炭石がいります

スガ 升一 とく飲 ムラク〇五五	電燈 トソコニ けしん燈の時を ムラク〇〇一	鐵鋼 ント一 ムラク〇三	瓦煉 筒一 六二〇ロキ	乗合自動車 とる走ロキ ムラク六六九	列車 ロキ一 とる走 ロキ六
糸毛 ドンキ一 六〇ロキ	トンメセ 袋一 ロキ八	料肥安硫 貫一 五二六ロキ五	スクーコ ムラク百	糸生 糸百 五〇ロキ五	船舶 ト千二カ ハッ三十連時 がト十四 ント五
服民國 着 ロキ〇三	具夜 組一 二一ロキ七	衣浴 枚一 四〇ロキ五	ンバ 斤一 ムラク二七	瓦 枚一 ムラク〇〇六	
酒清 升一 ムラク〇五八	油醬 升一 ムラク〇〇三	糖石 筒一 ムラク五五	味 枚一 ムラク〇〇六		
酒麥 本一 八〇ロキ四	塩 ムラク百 ムラク〇四	糖砂 斤一 ムラク〇一ニ	味 糸百 ムラク〇五八		

私たちが石炭を掘ることには、
できる限り、私たちが
日常生活に必要とするものは、
この備えでも分る通り、こんなに石
炭を使つて、動いてゐるので、
私たちが服の新調を見合はせ、石炭一
つでも大事に使へば、それだけ石炭
が貯蓄できます。かうして、ただ
一億で節約した石炭で飛行機を
運送を前線へ送りませう。

は字数の内表面
量表所の炭石



日本の子
は
ちんちん

北ホルネオ

「日本のお姉さまに送る写真にマライの少女は、いつか来て」
北ホルネオは、お姉さまに送る写真にマライの少女は、いつか来て。お姉さまは、お姉さまに送る写真にマライの少女は、いつか来て。お姉さまは、お姉さまに送る写真にマライの少女は、いつか来て。

先づ二週間を現地視察に
すとしてかへつた司政長官は
「タイヤ族も日本に對しては
心から信頼し協力してゐる。ま
た日本車も素晴らしい普及し
てゐた。何百キロも入つた山奥
の部落で君が代をきいたときは
御陵殿の有難さに思はず感涙
にむせんだ」
と語つておまつ
みなさん、あなた方には可愛
い弟や妹がこんなに大勢、大東
亞の各地にゐるので、つから、し
つかりお話をきたへ、戦後してヨ
イコになりませう

「マリヤに渡さうか。日本の兄
さんに渡したいけれど……日本も
支那ぐらゐの遠いや」上左

「早く落しなさいよ。早く食べたい
わ。そんな食ひしん坊いふと笑はれ
るわよ」と仲よし華僑の少女達



「東、マライ横綱、西ボル
ネオ山」兵隊さんに教へら
れて元氣一杯なマライのヨ
イコの土俵入り
日本のお寺で焼と遊ぶ
やうに、信心ぶかいマライのヨ
イコも回教のお寺の近くがたの
しい遊び場です

はて、男かしら、女かしら。分
ないぞ。「日本の兄さん、まちが
へてはいやだな。ボク、インドの
ヲトコのコです」

撮影 斎藤陸軍報道班員

現地潜水工養成所

南昭

このはげしい戦いをやり抜くためには船はいくらあつても足りません。そのため、いま船はぞくぞくと進水してゆきますが、一方、海底にしづんでゐる船もできるだけ早くひき揚げて、これを活用しなければならぬのです。

現地昭南に潜水工養成所がひらかれたのは昨年七月でした。これは原住民をりつはな潜水工に仕立てて、船腹増強にすこしでも役立つもらはうといふ目的でひらかれたのですが、これが日本に協力をかかふ原住民たちに大きな反響をあたへ、多数の入所をみたのでした。すでに第一回の卒業生は、をしくも潜水服に身をかためていま海面下の船腹増強に挺身してゐます。

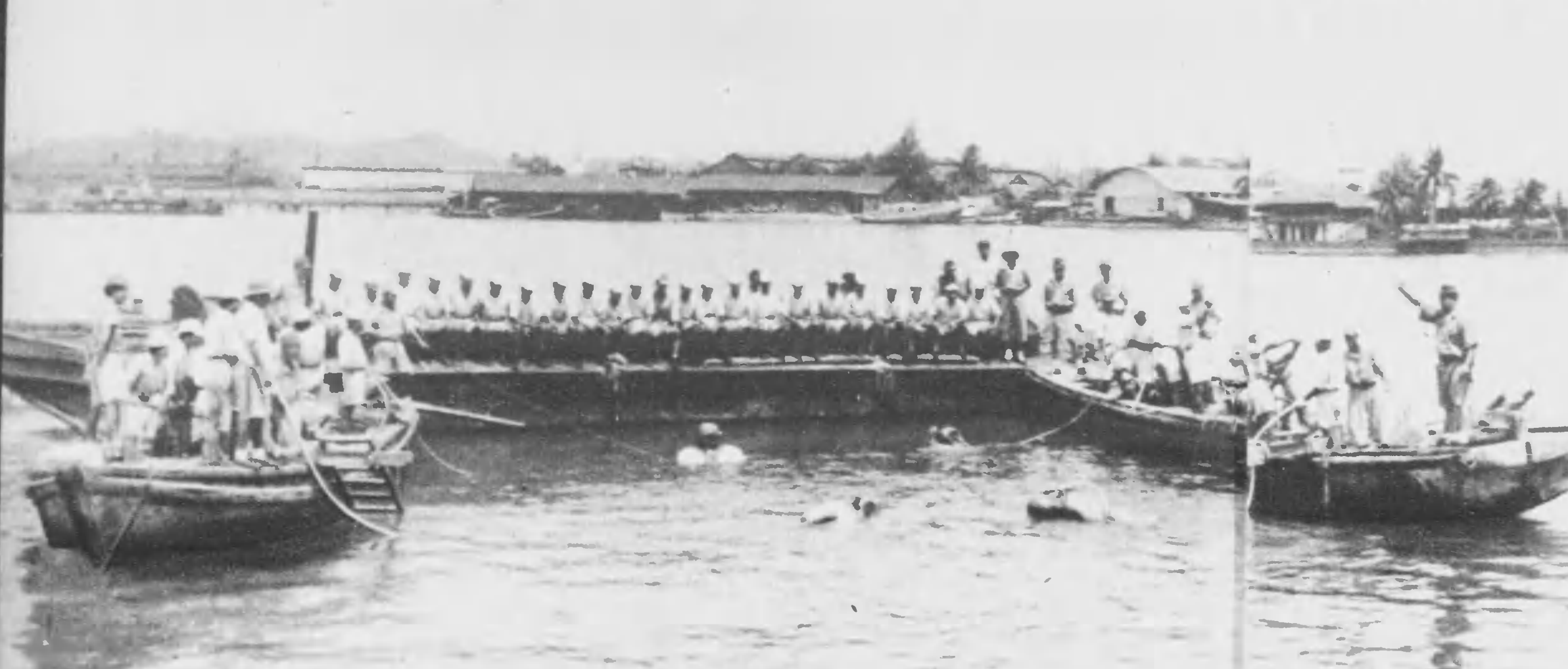
しかも第二回の卒業も近い原住民の若人たちは、いまさら／＼光る南の海で、毎日熱心な訓練に餘念がありません。たくさんの原住民の潜水工が、南海に活躍するちかいつ將來こそ、海洋日本の、さらにかどやかしい発展を約束するものでせう。

撮影 舟山陸軍報道班員

いよく／＼これからもぐるのだ。學友がならひおぼえ大子つきも巧みに潜水服をつけてくれます。眼の下に青い海がさざ波をたててゐる最後の仕上げ。教官も友人も見えてゐる前で、今まで習つた潜水術の披露です。これと同じで、やがてでかい船をひきあげてみせるぞ。



「同族に對して敬禮、さげエ、銃」開講前の四の點呼です。さわやかな海風に、若人の胸はよくらむ潜水服装着の實習です。親切な教官の言葉を、皆でもきこもらすまいと、若人たちの眼はかやいてゐます。



「イチ、ニ、イチ、ニと日本語のかけ聲もいさましくボシブ押しの実習です。四ヶ月の熱心な研鑽は、いま、やうやく實をむすびました。非常な沈着と機械な動作で潜水の實習。





ウレシイナ
ボクニラノ
チヨチクガ
ニナル

最高利廻
の預け金は
國民貯蓄組合の
金銭信託
無税(但七千圓以下)
三分八厘(以五年)
三分六厘(以三年)
(案内書進呈)

三和信託

本唐大市東區今橋三
支店(京東)・丸之内・名古屋・京都・奈良・船場・池田・和歌山
神戶・廣島・高松・小倉・福岡・熊本(出張所)・横濱

印刷局印刷發行

本誌を回覧に
本誌を、隣組や職場
で回覧するなど、出
来るだけ有効に御利
用下さい。
前線慰問にも
またお読みになつた
ら本誌を前線慰問に
送りませう。送料は
内地と同様で封封の
るひは開封にして第
三種と明記すれば、
一部一袋です。

本誌掲載の寫眞中、攝
影者名或ひは提供者名
を特記してあるものは
の製財団法人寫眞協
又、海軍省承認の複製
製は海軍省承認の複製
二四二號です。

所 送 申
全國各地官報
週報普及部
各省(府)官報
書店・購買店
新聞販賣店

價 定
▲特大的場合は
金より差額を申
受けます。
共一十九錢
(送料一錢)
外國郵送に依
る地域は送料
共一十九錢

寫眞週報
(榮無斷轉載)

昭和十九年一月
廿六日 印刷發行
編輯者
情報局
東京都
水田町
印刷者
東京都
東區
印刷局
東京都
東區
大塚町

(列位報選)-A4所規定額はきき大の資本